

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 19 日

事務事業名		「わくわくチャレンジ」推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020303000652
						単独/補助	補助	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	生涯学習課
総合計画の施策名		0203 青少年の健全育成						グループ	生涯学習G
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						担当者名	
施策名		03 青少年の健全育成							
手段名		03 ③地域教育力の充実							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (平成14年度~)
	01	10	05	02	00		地域の教育支援体制等構築事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠		学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
土曜日・日曜日等に地域の子どもの安全・安心な活動拠点の確保をする。様々な体験・交流・学習活動を通して、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育成する。子どもたちが地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりを推進するために必要な活動をする。	年4回に分けて募集 ・指導員との連絡調整 ・活動計画、講師依頼、材料等準備 ・わくわくチャレンジ参加者募集チラシ作製及び配布 ・参加者募集受付システムの管理 3月：行政協力員 (安全管理員) の募集 ※令和4年度は募集なし

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・県補助金申請 ・コーディネーター(指導員)との連絡調整 ・活動計画、講師依頼、材料等準備 ・ボランティア、推進員(サポーター)の募集 ・移動教室に伴う市バス使用申請及び同行	実施回数	回	8.00	26.00	27.00	27.00	27.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
市内の4歳児から中学校3年生まで (義務教育学校含む)	市内の4歳児から中学校3年生まで	人	1,811.00	3,212.00	3,049.00	2,900.00	2,750.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
週末に子どもたちの安全・安心な活動拠点の確保を図り、地域の方々の参画を得て、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	延べ参加者	人	87.00	252.00	344.00	360.00	360.00
	募集定員	人	160.00	540.00	574.00	600.00	600.00
	参加割合	%	54.40	46.70	60.00	60.00	60.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
	国庫支出金	千円	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0		
	使用料・手数料	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	120	235	339		
	事業費計 (A)	千円	120	235	339		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

03年度事業費 実績 (千円)		04年度事業費 予算 (千円)	
07 報償費	117	07 報償費	110
10 需用費	118	10 需用費	229
合計	235	合計	339

事務事業名	「わくわくチャレンジ」推進事業	事務事業No.	20303000652	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
学校週5日制が完全実施されたが、土曜日を必ずしも有意義に過ごしていない子ども達も少なからず存在するとの指摘がある中で、子ども達にとってより豊かで有意義な土曜日を実現するために、桜川市では平成26年度より「わくわくチャレンジ」事業が開始された。アンケートをもとに少しずつ教室内容を変えている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
家庭ではなかなかできない体験を親子でできる機会がもてる。学校においてもなかなかできない体験ができる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子ども達が地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりに結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域における子どもの学校外学習での場や機会の充実を図り、豊かな体験学習の機会を提供することで、子どもたちの「生きる力」を育む一助とし実施している事業であるため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある まだまだ参加率は低いので、子ども達が求めているような内容を考えることで参加率を上げることができると考える。特に、高学年から中学生の参加率が著しく低いので、従来の内容のほかに、高学年以上のニーズに合った教室内容を考えていきたい。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 土・日曜日を有意義に過ごしている子どもとそうでない子どもの教育格差が開いてしまう。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合))
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 市内の子どもを対象としていることから、連携は可能であると考え。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 講師謝礼の報償費は最小限で行っており、事業費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担として、材料費が必要なものに関しては参加者から材料費を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
課題：小学校高学年から中学生にかけての参加率が著しく低い。また、教室によって大きく参加率が変わるため、子ども達や保護者が求める教室を把握する。 解決策：土・日曜日の午前中の実施だけでなく、他の時間にできないか検討する。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認